宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校　学校通信
（平成２９年１０月３号）
文責　校長　田雜　健
平成 29 年 10 月 20 日(金)発行

学校教育目標　：　ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像　：　素直で心豊かな生徒　・　自ら考え、主体的に学ぶ生徒　・　強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行　：　心のこもったあいさつをする　授業に集中する　生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う　清掃活動に力を入れる

３年実力テスト終わる

１９日（木）、２０日（金）の２日間にわたって３年生の実力テストを実施しました。３年生は承知のとおり、今回のテスト結果を含んだデータを基に１１月の３者面談に臨むことになります。点数も気になるところでしょうが、以前も述べたように、今まで自分がどれほど主体的に、計画的に学んできたかを確認する機会として、そして、確認のうえで得た反省に立って今後の取組を考える機会として活用してほしいと強く願っています。

第２面に掲載している『「１００日」の重さ』中にも書いていますが、受験には難問・奇問が出されるわけではありません。日頃の授業できちんと学び、力を付けておけば対応できるレベルの問題が出されます。ですから一番大切にしなくてはならないのは毎時間の授業であり、授業を有意義なものにするためには、一緒に受ける学級全員の気持ちが「目標達成に向けてがんばろう！」という方向に揃っている必要があるのです。【受験は団体戦である】というひとつの所以です。

点数も確かに大事。でも、それのみに振り回されないように、テスト終了後に自分は何をしなくてならないかをしっかりと考え、行動に移してください。

季節の変わり目、体調管理にも十分気をつけましょう。

見守りに感謝

登下校の際に「子ども１１０番の家」と記されたステッカーを見たことがありませんか。

「子ども１１０番の家」活動について、警視庁ＨＰでは次のように記されています。

> 「子ども 110 番の家」活動は、自治体や PTA 等が中心となり地域ボランティアによって、活発に行われています。
>
> 「子ども 110 番の家」は、子ども達が危険に遭遇したり、困りごとがあるとき安心して立ち寄れる民間協力の拠点として、各種被害防止の面からも有効であることから、より多くの方に参加していただき、多くの立場から子ども達の安全を見守っていただきたいと思います。

宇久島内には２０箇所近くの「子ども１１０番の家」があり、各地域でみなさんの安全・安心のために協力いただいています。「何もないのが一番」ではありますが、万が一の場合に備えて、通学路や自宅周辺の「子ども１１０番の家」はどこかを確認しておきましょう。

「行って来ます」から「ただいま」までを見守っていただいています。

遅くなりましたが
後期始業式での話を少々

後期始業式での生徒代表の話を前号では紹介しました。それぞれにしっかりと考えられており、後は個人で、学級で実践あるのみという思いを強くしました。私からは代表の発表後、下記の内容を骨子として、話をしました。

○後期の開始にあたり、皆さんに心がけてほしいことを４点お話しておきます。
その１：提出物をきちんと出すこと
その２：校内の美化に努めること
その３：進んで係活動に取り組むこと
その４：授業を中心に、自分の考えを「分かりやすく伝え」相手の考えを「よく聴く」こと

○実はこの４つは、夏休み明けの９月に、「ここをもっとしっかりやれば、さらに宇久中がよくなるぞ！」と示したポイントです。

○その後、まだ課題として残っているようです。ぜひ、心して取り組んでほしいと思います。

○後期も多くの行事が行われますが、中でも、文化的な行事が目を引きます。
文化とはそこに暮らす人たちに伝統的に受け継がれているもの、あるいは特徴です。

○では、宇久中の文化は？
「よき人生はよき習慣にやどる」と言います。つまり、毎日やっていることです。宇久中生徒の五励行はまさにそうです。
全員が徹底して実行することで、「平凡なこと」が「非凡なこと」に変わる。これが「凡事徹底」ということです。

○日々すべきことを丁寧に行い、積み重ねる。そのことで人は磨かれていきます。
そして、それが人として「よりよく生きる力」につながっていきます。

○後期に向かって、再度自分の目的・目標を確認し、その達成のために力を尽くしてくれることを期待しています。

「１００日」の重さ

ちょっと前の話になりますが、今月５日に宇久高校で開催された「センター試験１００日前集会」に参加させていただきました。外部講師によるお話ということでしたので、どんな檄が飛ぶのかと興味しんしんでうかがったのですが、案に相違してというか、とても冷静に「１００日」の意味を、受験生、そしてこれから受験を考え備えていく１・２年生に説明されました。講師の吉田様は大手教育機関にお勤めで、多くの受験生と向き合い話を聞き、何十万人という規模でデータを収集して研究してこられた方。ここでは、お話の内容について詳しく触れることは遠慮しますが、大きくは普段、学校で指導している内容で同筋であったと言えると思います。

・自分の代わりは誰にもできない。
・合格のための２つのポイント
→目標を設定、合格に必要な力をつける

・入試に難問・奇問が出るわけではない。
・「分かる」と「できる」は違う。
・授業を一番大切にする。
・起床時間、食事時間、勉強開始時間、寝る時間の４つは固定する。

などなど、「高校受験」にも十分対応するお話でした。機会を見て、本校生徒にも内容を伝えたいと思っています。

１１月９日（木）は
中高合同駅伝大会です。

当日は９：３０行政センター前からスタートし、３ｋｍの折り返しコースで競います。競技中はご迷惑をかけますが、応援よろしくお願いします。